

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	りんご並木三連蔵管理事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	商業・市街地活性課			1	7	1	6	13	1	717
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり				包含する細々目							
施策	46 活気ある街づくりの推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	済み							
		事業期間		年度～	年度							
												関連計画条例等

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	りんご並木三連蔵	設置したトイレの数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			1		1	
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	快適な環境に維持される。	来街者数(交通量調査による)(りんご並木でカウント)	18目標	900	最終目標	1000
			18実績	870	19目標	
			23目標	1000	23実績	
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	りんご並木三連蔵トイレ清掃委託	りんご並木三連蔵トイレ清掃委託 修繕	対象となった施設箇所	1
	18年度の実績			
		りんご並木三連蔵トイレ清掃委託 修繕	対象となった施設箇所	1
		19年度計画		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	604	717
事業費計(A)	604	717	
人件費	正規職員所要時間	18年度 100	19年度 100
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	358	358
	トータルコストA+B	962	1,075

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	中心市街地に人や物が集まり活気がある状態を目指す	まちなかの6スポットの1日あたりの延べ歩行者数	現状値	11220	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	9200
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 昭和22年の大火後、焼け残った蔵の利活用	事業を取り巻く状況の変化 りんご並木三連蔵のトイレ清掃委託と修繕料を予算化。本町にあった公衆トイレの代替施設、りんご並木への来街者が利用している。	事業に対する市民や議会の意見 今以上に利用しやすい工夫、例えばわかりやすい案内板(サイン)の設置等を要望されている。
---------------------------------------	--	---

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 快適な環境は、街なか観光に訪れる観光客や散策等を楽しんでいる市民に、利用しやすい施設となっている。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) トイレを快適な環境にすることは来街者にとって良い印象を与え、賑わい創出の一役を担う。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) トイレの清掃委託を予算化したものである。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 街なか衛生状態や景観が損なわれる。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 街なか観光に訪れる観光客や散策等を楽しんでいる市民に快適な環境をあたえることは、必然的である。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合不可能 (類似事業名、理由) 三連蔵の管理委託と一体に行なっているため、現在の委託形態で行うのが最善である。
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 街なか観光の起点であり飯田市の顔的な箇所にあることから、施設自体を所有することは必要と考える。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 不可能 (その理由) 三連蔵の管理委託と一体に行なっているため、これ以上の削減は不可能。
		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) 三連蔵の管理委託と一体に行なっているため、これ以上の削減は不可能。
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 中心市街地に訪れる方々

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	